



木質バイオマス発電を通じた電力の地産地消

事業所・団体プロフィール

名称：株式会社グリーン発電大分
住所：日田市諸留町2813-22
代表者：代表取締役 森山 和浩

関係する県の制度

おおいた脱炭素杯
おおいたうつくし作戦功労者表彰

具体的な取組

日田市及び近郊で育った木材で発電した電気を市内の小中学校や公共施設に供給する「電力の地産地消モデル」を中心として、建築廃材などのリサイクルや山林の保全のための種苗育成などを通じて、環境にやさしいエネルギー供給が将来にわたって継続できる仕組みづくりに取り組んでいる。

【特徴】

- 山林に放置されていた間伐材を買い取り、西日本初の林地残材や間伐材を専焼する木質バイオマス発電事業(出力5,700Kw)を通じて、低炭素社会づくりと地元林業の活性化に貢献。
- 年間約19,000トンのCO₂削減(環境省・地球温暖化対策効果算定ガイド(2017.1)より概算試算)
- 発電所から生じる電力は、市内の公共施設や学校へ供給され、発電時に生じる温熱水は、地元のいちご農家のビニールハウス(1.1a)の加温に利用されており、再生可能エネルギーの地産地消モデルとして注目されている。



関連するSDGs

7 エネルギーをみんなに
そしてグリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナシップで
目標を達成しよう

